

1月から始める Web通信学習法

当セミナー資料の著作権はTAC株式会社に帰属します。著作権者の許可なく、無断で、複製、頒布、譲渡、貸与、転載、公衆送信等に使用することはできません。

セミナー内容

- 1 効果的学習法
- 2 効果的学習を実現するための学習計画
- 3 そのほかにWeb通信でできること

【みなさんへのアンケート】

質問項目

1. 現在の簿記の知識レベルについて
2. 現在の職業について

投票画面が表示されました、
該当する項目を選択してください。

1 効果的学習法

▶「学習サイクル」の確立

⇒学習サイクル（講義・復習・問題演習）を生活の一部として取り込む



▶講義視聴後、必ず復習・問題演習を行う

⇒講義で学んだ内容をしっかり確認し、問題演習を通して理解度を確かめてから次の講義に進む

**この「学習サイクル」を繰り返すことで、
知識の定着を図ることができる！**

▶ 講義後の復習は、当日または翌日に行う

- ⇒ 講義視聴から時間が空くと、記憶はどんどん薄れていく
- ⇒ 早めに復習することで講義の記憶が残ったまま復習でき、復習時間も短縮できる

▶ 毎日学習する

- ⇒ 知識の定着には、繰り返し復習することが効果的
- ⇒ 短時間（30分）でも良いので毎日学習時間を確保する

▶ 早朝時間やスキマ時間を活用

- ⇒ 早朝は安定して学習時間も確保でき、
頭がクリアな状態で学習に取り組むこともできる
- ⇒ 通勤・通学などの移動時間には理論の暗記が最適
- ⇒ 出勤前や昼の休憩時間には問題演習も可能

▶「ミニテスト」を受けてから講義を視聴

⇒Web通信の講義は「ミニテスト（前回講義内容の確認テスト）」
の解説講義からスタート

⇒「ミニテスト」を受けてから講義を視聴し、解説で理解度をチェック

▶答案を期限内に提出し、添削指導を受ける

⇒Web通信では、「実力テスト（定期テスト）」や
「答練（直前期の答案練習）」について講師による添削指導を実施
（個別指導的なアドバイスが受けられ、モチベーションUP!）

⇒提出期限を守ることで、最適な学習リズムも維持できる

⇒きちんと答案提出している通信受講生は、合格率が高い！

2 効果的学習を実現する ための学習計画

▶ 1 週間の生活スケジュールに学習時間を組み込む

⇒「1週間の学習スケジュール表」を作成し、「いつ」「何を」

学習するかについて計画を立て、それを必ず実行！

⇒学習を継続するには、実行可能な計画を立てることがポイント！

▶ 講義の配信日程に合わせて学習スケジュールを立てる

⇒Web通信の講義配信日程は、教室講座の講義日程に合わせて設定

⇒配信日程に合わせて学習することで学習リズムをつかむことができ、

受験勉強が継続しやすくなる（教室講座と同等の効果が期待できる）

▶ 講義時間と同程度の復習時間を次の講義までに確保

⇒“問題が解ける”レベルに引き上げるためには、講義時間（3時間）

と同程度（3～4時間程度）の復習時間が必要

“Web通信ならではの”の効率的な受講方法

▶ 1回の講義を分割して受講（視聴）

⇒各回講義は2～3個のチャプターに分かれているため、

1回分の講義を分割して受講（視聴）することが可能

～活用例～

出勤前に前半講義を受講し、帰宅後に後半講義を受講

▶ 高速再生機能を使い短時間で講義を視聴

⇒再生スピードを0.8～2.0倍に変更することが可能

⇒再生スピードを速めることで、講義の視聴時間を短縮できる

～活用例～

1.4～1.6倍速で再生し、講義1コマ（3時間）を2時間程度で受講

【参考】 1週間の学習スケジュール表（例） ～簿記のみ学習の場合～

	月	火	水	木	金	土	日
6:00	起床・準備	起床・準備	起床・準備	起床・準備	起床・準備		
7:00	講義（簿記・前半）			講義（簿記・前半）		起床・準備	
8:00	移動	移動	移動	移動	移動		
9:00	会社	会社	会社	会社	会社	復習（簿記）	
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00	移動	移動	移動	移動	移動		
20:00							
21:00	講義（簿記・後半）	復習（簿記）	復習（簿記）	講義（簿記・後半）	復習（簿記）		
22:00	復習（簿記）			復習（簿記）			
23:00							
0:00							

※ 倍速機能を活用して、講義1コマ（3時間）を2分割して1時間ずつ視聴

【参考】 1週間の学習スケジュール表（例） ～簿記・財表同時学習の場合～

	月	火	水	木	金	土	日
6:00	起床・準備	起床・準備	起床・準備	起床・準備	起床・準備		
7:00	復習（簿記）	復習（簿記）			復習（簿記）	起床・準備	起床・準備
8:00	移動（暗記）	移動（暗記）	移動（暗記）	移動（暗記）	移動（暗記）		
9:00	会社	会社	会社	会社	会社	講義（財表）	復習（財表）
10:00						復習（財表）	復習（簿記）
11:00						休憩	
12:00							
13:00						講義（財表）	
14:00						復習（財表）	
15:00							
16:00							
17:00							
18:00	移動（暗記）	移動（暗記）	移動（暗記）	移動（暗記）	移動（暗記）		
19:00							
20:00	講義（簿記）	復習（簿記）	復習（簿記）	講義（簿記）	復習（簿記）		
21:00		復習（財表）			復習（財表）		
22:00							
23:00							
0:00							

※ 倍速機能を活用して、講義1コマ（3時間）を2時間で視聴

3 そのほかにWeb通信で できること

▶ 講義動画をダウンロード

⇒「TAC WEB SCHOOL」のアプリをダウンロードすると
講義動画のダウンロードが可能に

～活用例～

ダウンロードした講義動画をスマホで通勤時間や昼休みに視聴

▶ 講義動画を“復習ツール”として活用

⇒Web通信の講義動画は、本試験最終日まで繰り返し視聴可能
(すでに学習した内容を確認したいとき、遡って視聴できる)

～活用例～

「実力テスト」で間違えた論点について、ピンポイントで
講義を再視聴して確認

▶教室講座の講義に出席

- ⇒「スクーリング制度（通信生が教室講座に一定の回数出席できる制度）」を利用して定期的にライブ講義を受講
- ⇒特に「実力テスト」や「答練」は他の受験生がいる中で緊張感をもって受けることが望ましいので、「スクーリング制度」の利用がオススメ！

▶税理士講座のイベントに参加

- ⇒通信生の学習上の悩みについて定期的に行なう「電話学習相談」で対応
- ⇒本試験後や合格発表後における受験相談も8～9月と12～1月に開催する「個別学習相談会」や「電話学習相談」で対応

▶疑問点の解消

⇒学習上の疑問点が生じたら一人で抱え込まず、すぐに質問して解消

- ・ 質問電話
- ・ 質問メール (i-support)
- ・ よくある質問 (i-support)

▶他の受験生と繋がり、モチベーションアップ

⇒同じ境遇で学習している受験仲間とネットワークを築いて情報交換

- ・ 掲示板 (i-support)

【参考】Web通信・合格者の声

鎌田 雅樹 さん

＜Web 通信のメリットを活かし短時間でカリキュラム消化＞

働きながらの受験でしたが、「Web 通信講座」のおかげで生活スタイルに合わせた学習をすることができました。「Web通信講座」では、講義を常に1.5倍速前後のスピードで受講することで、短時間でカリキュラムを消化することができましたし、講師も人気の方ばかりだったと思います。また、受験した科目のすべてにおいて、合格に必要な知識はすべてTACの教材に収録されていたため、多方面に手を広げるよりTACを信頼することが合格への近道になると思います。

高橋 宏和 さん

＜「スクーリング」は回数分を使い切る＞

「質問電話」と教室講義に出席できる「スクーリング」は何度も利用しました。「質問電話」では親切に対応していただき、疑問を残さず学習することができました。また、「スクーリング」では「答練（答案練習）」を教室で受講し、そこでは自分の答案についても相談ができるため、これは利用しない手はないと思い、毎年、可能な限り利用していました。

Web通信から通学講座へのメディア変更

Web通信講座から通学講座にいつでも変更OK！



“TACに通って税理士を目指したいけれど、新型コロナウイルスが収まるまで通学は不安...”そんな場合はWeb 通信講座がオススメです！

TACでは、学習メディアの変更ができるので、講義中心のインプット期はWeb 通信講座で学習を進め、演習が増える直前期から教室講座に変更するといったメディアの使い分けもできます。

税理士スタート講座 全10回

冬の
学習応援
キャンペーン

通常受講料

※教材費・消費税10%込

~~¥18,000~~

今なら
無料

※単科生が対象です（期別申込は除く）。本科生・バック生は申込特典（税理士講座パンフレットP35参照）で無料受講できます。
※学習メディアは問いません（資料通信講座を除く）。

対象者 簿記論・財務諸表論・消費税法 いずれかの科目を「速修コース」でお申込みの方

**簿記の学習経験が
なくても安心！**

「税理士スタート講座」では、税理士の学習に必要な日商簿記3級の知識を効率よくマスターすることができます。簿記の学習経験がなくても本コース受講前に「税理士スタート講座」を受講することでスムーズに学習を始めることができます。

対象 日商簿記1級学習経験者

2 簿記・財表ロング体験 無料

各コースの第7回講義まで無料体験できる！

「税理士受験を検討しているが、どのコースを受講すればよいか悩んでいる」

「日商1級の合格発表前に税理士講座のコースが始まってしまう」

そのような日商簿記1級学習者のみなさんのために、お申込み前でも各コースの第7回講義まで受講できる「簿記・財表 ロング体験」をご用意しました。是非、ご利用ください。

★無料受講いただくには、下記いずれかの提示またはコピー添付が必要です(可否は問いません)。

▶日商簿記検定1級の受験票 ▶日商簿記検定1級の合格証書または結果通知書

▶2021年11月以前のTAC簿記検定講座1級の会員証

対象コース ※最大2科目、3コース体験OK！

- ・12月入学 速修コース(簿記論・財務諸表論)
- ・1月入学 速修コース(簿記論・財務諸表論)
- ・1月入学 上級コース(簿記論)

体験メディア

教室講座

開講クラス・講義日程を確認の上、ご出席ください(P42～49)。

ビデオブース講座

ビデオブース視聴開始日程を確認の上、ご視聴ください(P44・48)。

Web通信講座

Web講義配信日程を確認の上、ご視聴ください(P44・48)。

TACで
日商簿記を
学習していなくても
OK!

申込方法
(窓口申込・郵送申込)

お申込みは、当パンフレット付属の「簿記・財表ロング体験」
チラシ内の専用申込書でお手続きください。



こんな方にオススメ！

- ▶2021年11月の日商簿記検定1級を受験し、合格発表を待っている方
- ▶「簿記論」を「速修コース」と「上級コース」のどちらのコースで受講すべきか悩んでいる方
- ▶「簿記論」と「財務諸表論」の2科目受講を検討している場合で、各科目の学習量を確認したい方

利用上の注意事項

- ※「上級コース 簿記論」をWeb通信講座で体験いただく場合、第4回(上級演習①)につきましては自己採点となります。予めご了承ください。
- ※ビデオブース講座の視聴期限、Web通信講座の配信期限は、2022年1/31(月)までとなります。
- ※ご利用可能なフォロー制度は、「簿記・財表ロング体験」チラシにてご確認ください。